

福山



藤井ひとみさん

葬儀や法事に持って行く香典の不祝儀袋の表書きに悩んだことはありませんか。

一般的に、仏式では「御仏前」または「御霊前」と書きます。神式では、「御玉串料(おたまぐしり



よう)「御神前」と書き、キリスト教では「お花料」と書きます。
使う袋や使い方もそれぞれ違い、仏式の場合は、ハスの花の絵の入った不祝儀袋を使いますが、神式では使いません。また、包みの中は新札は避けるほうがよいようです。

このようにしきたりはいろいろありますが、そうはいっても、ご不幸は突然訪れるものです。訃(ふ)報を聞き、さて、香典を用意しようとなったとき、先方の宗教が分からないことが多いものです。こういう場合は「御霊前」と書くと、どの宗教にも使えます。

この記事の問い合わせ
☎0120(59)5148
墓石・墓苑の彩聖(新渾町
6-15-22)

※このコラムは、毎月1回、墓石や墓づくりについて彩聖・お墓ディレクター藤井ひとみさんに伺います。